

# ふじのくに型「人生区分」の提示

～ 健康寿命の延伸と  
元気で活力あるいきいき社会の実現を目指して～

平成27年6月12日

静岡県 健康福祉部

# 従来の年齢区分と本県の状況

- 国統計で用いられる年齢区分

	老年	生産年齢	年少
年齢区分	65歳以上	15～64歳	0～14歳

- 本県における65歳以上人口の割合は26.8%
  - 今年初めて100万人を突破。

	昭和60年	平成27年	平成72年(推計)
<b>静岡県</b> 高齢化率 高齢人口(人)	10.2% 360,091	↗ 26.8% ↗1,011,691	—
<b>全国</b> 高齢化率 高齢人口(人)	10.3% 12,470,000	↗ 26.0% ↗33,002,000	↗ 39.9% ↗ 34,640,000

出典：(実数)H26.10総務省人口推計・H27.4 静岡県長寿政策課調べ  
(推計値)社会保障・人口問題研究所公表値

# 高齢者を取り巻く環境の変化

- 1956年（昭和31年）に国際連合が65歳以上を高齢者と定義
  - 当時（昭和30年）の静岡県の平均寿命  
男性64.12年、女性68.63年  
⇒ **平均寿命を超えたら“老年(高齢者)”に相当**

- 平均寿命は**15年以上延伸**（静岡県） 単位（年）

	昭和30年	昭和50年	平成2年	平成22年
男性	64.12	↗ 72.32	↗ 76.58	↗ <b>79.95</b>
女性	68.63	↗ 77.64	↗ 82.47	↗ <b>86.22</b>

出典：厚生労働省ほか「都道府県別生命表」など

# 高齢者を取り巻く環境の変化

- 65歳を迎えても、日常生活に支障なく過ごせる健康寿命までは、男性で約7年 女性で10年超

	健康寿命	健康寿命－65	単位（年）
男性	71.68	+6.68	
女性	75.32	+10.32	

- 高齢者の身体能力は継続的に向上(新体カテスト)



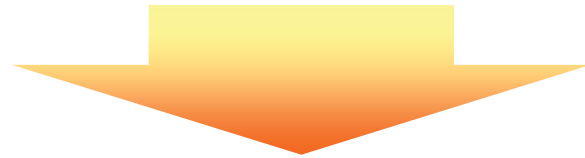
- 従来の“老年（高齢者）”が表すイメージが大きく変化してきている

出典：H22都道府県別健康寿命 厚生労働科学研究班

---

# 新たな「人生区分」提示の目的

- 健康寿命相当年まで“老年”の考え方を引上げ



- 高齢化社会に対する前向きなイメージの醸成
- 価値や文化、技術の継承など世代間をつなぐ役割を担う世代の意識付け
- 健康長寿の3要素の1つである“社会参加”の増加により、健康寿命のさらなる延伸を図る



# ふじのくに型「人生区分」

- 「健康寿命」相当年齢までは“壮年”扱い

呼 称		年齢区分	説 明
老 年	百寿者	100歳以上	白寿後（100歳）以上
	長 老	88・90- 99歳	米寿（88歳）卒寿（90歳）から白寿（99歳）まで
	中 老	81 - 87歳	傘寿後から米寿前まで
	初 老	77 - 80歳	喜寿（77歳）から傘寿（80歳）まで
壮 年	壮年後期	66 - 76歳	<b>経験を積み、様々なことに熟達し、 社会で元気に活躍する世代(働き盛り世代)。 (健康寿命 男性71.68歳、女性75.32歳)</b>
	壮年中期	56 - 65歳	
	壮年前期	46 - 55歳	
青 年		18 - 45歳	社会的・生活的に成長・発展過程であり、 活力みなぎる世代。 (農水省事業や地区商工会議所で45歳まで青年扱い)
少 年		6 - 17歳	小学校就学の始期から満18歳に達するまでの者
幼 年		0 - 5歳	少年に至る前の者

# ふじのくに型「人生区分」別人口

- 老年は11.0%（高齢化率11.0%はS63年の水準）

呼称		年齢区分	人口(人)		構成比	
老年	百寿者	100歳以上	402,667	1,760	11.0%	0.0%
	長老	88・90- 99歳		81,552		2.2%
	中老	81- 87歳		175,074		4.8%
	初老	77- 80歳		144,281		3.9%
壮年	壮年後期	66- 76歳	1,511,906	525,869	41.1%	14.3%
	壮年中期	56- 65歳		520,601		14.2%
	壮年前期	46- 55歳		465,436		12.7%
青年		18- 45歳	1,167,057		31.7%	
少年		6- 17歳	407,563		11.1%	
幼年		0- 5歳	186,751		5.1%	
合計			3,675,944		100.0%	

出典：H26.10 静岡県「年齢別人口推計」（1歳刻みの推計が可能）

# ふじのくに型「人生区分」と従来区分

- 青年＋壮年に分類される人は72.9%
- 区分変更により約60万人が老年⇒壮年

呼称	年齢区分	構成比
老年	65歳以上	27.1%
<b>生産年齢</b>	<b>15～64歳</b>	<b>59.7%</b>
年少	0～14歳	13.3%
合計		100%

呼称	年齢区分	構成比
老年	77歳以上	11.0%
<b>壮年</b>	<b>46～76歳</b>	<b>41.1%</b>
<b>青年</b>	<b>18～45歳</b>	<b>31.7%</b>
少年	6～17歳	11.1%
幼年	0～5歳	5.1%
合計		100%

**72.9%**

出典：H26.10 静岡県「年齢別人口推計」（1歳刻みの推計が可能）  
数字は小数第2位を四捨五入



# 健康寿命のさらなる延伸を目指す県の取組

- シニア版ふじ33プログラムの普及
  - 健康長寿の3要素（運動・食生活・社会参加）に着目した健康づくりプログラムの普及
- すこやか長寿祭の開催
  - 60歳以上を対象としたスポーツ・文化の祭典の開催
  - 成績優良者のねんりんピック(全国大会)への派遣



# 健康寿命のさらなる延伸を目指す県の取組

## ■ ふじさんっこ応援隊基本台帳の作成

- 壮年後期世代を活用した子育て支援活動の支援



## ■ 県民げんき・元気事業

- 地域資源を活用した健康づくりモデル事業の実施



## ■ 大学との連携による地域健康長寿モデル事業

- 大学が行う退職期前後の男性の健康長寿を目指すモデル事業を募集

# まとめ

- 元気で活動的な高齢者のさらなる活躍を応援するため、ふじのくに型「人生区分」を提示
- 県では、引き続き、健康寿命のさらなる延伸を目指す取組を推進し、ふじのくに型「人生区分」を活用していく
- 本県の、高齢者も元気で活躍できる“いきいき社会”であることのスローガンとして活用
  - 法令等で定める高齢者区分の変更を進めるものではありません。